

復興・絆 三屋裕子講演会

バレーボール教室

午後から観月台文化センター体育館でバレーボール教室が開催されました。
 三屋さんの他に元全日本選手の山下美弥子さん、多治見麻子さん、元Vリーグ選手の滝沢ななえさんの3人を加え、町体協バレーボール部員の協力をいただきました。
 県北中学校をはじめ、近隣市町の各中学校バレー部員約90人が参加し、大勢の見学者に見守られながら、三屋さんをはじめとするコーチ陣の指導を熱心に受けていました。



- 1 コーチ陣
- 2 山下美弥子さん
- 3 よく聞いて、ダッシュ
- 4 よく見て、相手を考えて
- 5 県北中学校バレー部
- 6 相手を思いやることを学んでほしい

Interview



粟野 風香さん

学校では学べないことを学べたので、参加して良かった。



長尾 柊斗さん

技術にびっくりしました。これからの練習に取り入れたい。



渡邊 ゆきさん

普段出来ない練習ができ、貴重な体験ができました。頑張ります。

三屋さんからのメッセージ

国見町には、昨年の夏にはじめてお邪魔して、みなさまからたくさんのおもてなしをいただきました。今回は、少しでも国見の人たちに元気で、自信をもって仕事をしたいだけのようなお手伝いをしたいという想いで講演させていただきました。みなさまに「よし、これから頑張ろう！」という気持ちを少しでも持つていただけたら幸いです。バレーボール教室は、子どもたちがちゃんと自分で考え、バレーボールというものを理解し、周りの友達を思いやることや、チームで協力することは、こういうことを伝えたい。特に、形よりもバレーボールに対する心構えを伝えられたい。この思いでやらせていただきました。生徒の皆さんが一生懸命やってくれたので、よかったです。今回は非常に寒い時期の訪問となりましたが、気候のいい時期にまた来たいと思います。ありがとうございました。

三屋裕子



「人生のデザイナー」

2月8日、観月台文化センターにおいて、「復興・絆 三屋裕子講演会・バレーボール教室」が開催され、町内外から約200人が集まりました。

三屋さんは、これまでも国見女性スポーツ協会会長として、復興に進む国見町の情報発信に大いに貢献頂いており、今回はその縁あつての開催となりました。

午前中に「人生のデザイナー」と題し、三屋さんのバレーボール人生の経験談を通じて「私たちは（生活の中でも）いくつかのチームに属しており、そのチームが機能するためには、求めるだけでなく、相手のために何が出来るか考え、行動すること」「過去を変えることはできないが、未来を変えることはできる。そのため的人生デザイン設計である」という話をされました。

講演中会場のあちらこちら

からから笑いと笑顔がこぼれ和やかな講演会となりました。

講演後、抽選で10人に三屋さんのサイン色紙がプレゼントされました。会場からは、一人決まるたびに、歓声がおこっていました。三屋さんに花束がプレゼントされましたが、三屋さんからは大雪でせつかくの花を持ち帰ることができないため、当日から近い誕生日の菊地富紀子さんにプレゼントされました。

また、大雪の中三屋さんは、商店街に立寄りお土産を買って帰られました。ありがとうございました。

